

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 3月 6日 更新

事務事業名		熊本県物産振興協会参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名	井村 幸弘
	施 策	12	商工業の振興			所属課	商工振興課	担当者名	田代 真紀
	施策の柱	36	生産・販売力の強化			所属班	商工振興班	(内線)	1273
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11461	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑪ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	振興協会への参画によって、市物産のPRIに寄与する。 平成5年4月1日、熊本県物産振興協会の設立に伴い市町村の取組みが始まった。 昭和38年観光基本法～昭和39年物産振興協会任意団体を結成。 平成18年の合併により負担金が5万円から10万円へ変更となった。
【業務の流れ】	請求書受付、支払及び振興協会からの調査依頼への回答 物産品の宣伝、展示等の事業展開に必要な情報の提供を受ける。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	地元特産品の全国展開に向けてアンテナショップ等への出品希望があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO) 請求書受付、支払 物産品の宣伝、展示等の事業展開に必要な情報の提供を受ける。 調査及び回答		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 熊本県物産振興協会から提供される物産情報や展示会開催情報の提供を受けるとともに、その情報を活用しながら協会との連携を密にし、合志市のブランド品のPRを発信できるよう努めていきたい。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア: 振興協会の研修会、講習会の開催回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
⇒ ア: 熊本県物産振興協会	社	⇒ ア: 振興協会加盟団体数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
⇒ ア: 熊本県物産振興協会加盟団体に多くの情報が提供され、スムーズな運営を図ることができる。	回	⇒ ア: 振興協会主催事業への出席回数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 物産品の宣伝、展示等の事業展開に必要な情報の提供を受けるため、協会主催事業へ参加するので、この指標を設定した。協会への参画事業なので、目標値は例年どおりとした。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費 の推移			単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア	回		1	1	1	1	1	1	1	1
	イ										
② 対象指標	ア	社		508	471	500	471	500	500	500	500
	イ										
③ 成果指標	ア	回		1	1	1	1	1	1	1	1
	イ										
投資 事業 費 量 人 件 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	100	100	100	100	100	100	100	
		(A) 事業費計	千円	100	100	100	100	100	100	100	0
		(A)のうち指定経費	千円	100	100	100	100	100	100	100	0
	(A)のうち時間外、特勤	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	3	2	3	3	3	0
		延べ業務時間	時間	8	8	25	25	0	0	0	0
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	31	31	99	92	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	131	131	199	192	100	100	100	0	

事務事業名	熊本県物産振興協会参画事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 協会主催の会議等へ参加し、情報収集ができた。
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 協会主催事業への参加は、日程調整ができれば可能である。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 日程調整をし振興協会主催事業へ参画し、多くの情報を市内企業へ提供をする。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 (一社)クラッシーノこうしと連携を図ることにより、市内事業者が協会主催事業へ積極的に出展できる環境を作る。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 他市町村とも同額の負担であるので削減の余地なし。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の支出と研修会への参加であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 振興協会がスムーズに運営されることにより、合志市が物産情報の提供を受けることができ、合志市内の不特定多数の人々に情報発信することができるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 (一社)クラッシーノこうしと連携することにより、『稼げる市』を目指す。

3 評価結果の総括（CHECK）

観光物産に関する活動や情報収集は市単独では困難なので、今後も協会に参加して情報提供を受けることが有効である。また、(一社)クラッシーノこうしと連携し、合志ブランドや市内農産物及び加工品の販路拡大に努める。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策